



加須市議選
2015年4月

くらし・福祉 優先の市政を

さえき 由恵 議員

日本共産党

よしえの活動日記

検索

みんなのまち

《プロフィール》 ◆1958年生まれ ◆県立川越女子高校、行田養護学校に勤務 ◆働きながら関東短大で教員免許取得 ◆埼玉県高等学校教職員組合・女性部副部長を歴任 ◆1999年騎西町議初当選 ◆現在：加須市議(旧騎西町から通算4期) ◆共産党議員団・幹事長 ◆役職：総務常任委員、介護保険運営協議会委員 ◆家族：夫、1男1女は独立 ◆住所：上穂足1322-1 ☎ 73-1607

発行：日本共産党騎西支部 TEL 0480-73-5018
《2015年春季号》日本共産党騎西支部の政策を紹介します。



国保税の引き下げ

国保税が高すぎて6世帯に1世帯が払えません。
加入者1人あたり1万円引き下げます。

救急医療の再構築

市内の医師は人口10万人に対し68人。全国平均の30%の水準です。
昨年10月から縮小した初期救急医療の再構築をはかります。

小中学校にエアコンを

加須市に隣接する市は、小・中学校にエアコンを設置済み。ないのは加須市だけ。市内小中学校30校にエアコンを設置します。

子育て支援拡充します

4月から子育て支援・新制度がスタートします。
幼稚園、保育所、学童保育などを拡充します。

特養ホームふやします

特養ホームの入所を待っている方は、374人(昨年7月)います。
施設を増床して、入所待ちゼロをめざします。

米価対策地域経済

加須市は「埼玉一の米どころ」。ところが、去年は米価が大暴落。国に米価の安定対策を求めます。
アベノミクスは市内に恩恵なし。地域循環型の経済対策を推進します。

今回は市議選!

今年の総選挙に続き、市議選でも日本共産党をのばし、消費税10%増税中止、くらし優先の経済、海外で戦争する集団的自衛権に反対、原発ゼロの声を上げましょう。国の悪政と対決する日本共産党の議員だからこそ、市民のくらしも守れます。



がんばります!



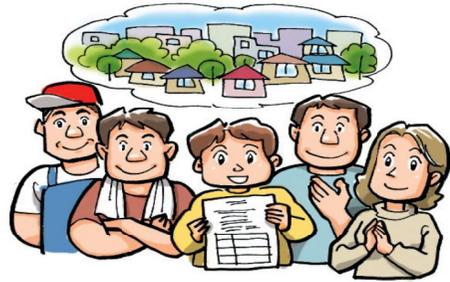
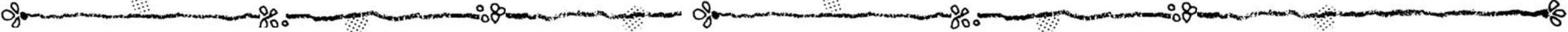
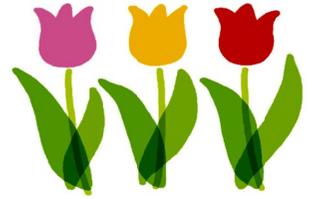
財源あります

◆各種基金(積立金)の117億円(2014年3月末)を有効に活用します。
◆年間約2億円余りを投入している同和事業は廃止、税金は市民のくらしにまわします。
◆税金40億円超を投入する身の丈を越える開発(野中土地区画整理事業(大利根))は見直し、財源はくらし・福祉に使います。

市民によりそい いつも 一生懸命

日本共産党

さえき由恵 議員



力あわせ

市民と市政うごかす 住みよいまちこ

- さえき議員の活動のモットーは、
- ① 市民の声を何よりも大切にす
 - ② 市民の利益第一で行動する
 - ③ 市民とともに住みよいまちをつくることです。
- 市民と力あわせて市政を動かす、さえき由恵議員。いつも一生懸命です。

♪ 実現しました ♪

- ◆ 特養ホーム180床増やす(2015年4月入所)
- ◆ 騎西地区の5小学校区に学童保育を開設
- ◆ 中学校の荒れを克服する
- ◆ 就学援助の申請書簡素化、申請月から交付
- ◆ 高い放射線を除染し、子どもを守る
- ◆ 住宅リフォーム助成事業を恒久化する
- ◆ 農業集落排水・使用料を引き下げる
- ◆ 文化会館のエアコンを改修する



チェック

税金は市民のために

同和事業はムダづかい廃止を

市議会の最大の任務は、市民の立場で行政をチェックすること。そして、「議会は言論の府」といわれるように議論をつくして住みよいまちをつくることです。

市政の最大のムダづかいは、毎年2億円を超える同和事業。税金を使って、新年会や鬼怒川温泉で大盤振

る舞い。日本共産党議員団は廃止を求めています。また、身の丈を越える野中區画整理は、税金40億円超を使う事業。共産党議員団は見直しを求めています。

「税金は市民のために」共産党議員団は、市民の視線で市政をチェックし、ムダづかいをただしています。



提案

くらし・福祉優先

料金値上げに対し修正案9回提出



いま、アベノミクスと非正規雇用の増大で、市民のくらしは、貧困と格差が広がっています。

日本共産党議員団の4人には、地方自治法にもとづいて市長と同様に、条例や予算修正などを提案できる、議案提案権があります。

合併後の国保税や介護保険料、水道料金、幼稚園保育料等の引き上げに対し、共産党議員団は議案提案権を活用し、引き下げの修正案を提出。その回数は9回に上ります。

市民のくらしを守るさえき由恵議員。市議会にかけがえのない議席です。